

あかあ!
かたみなぎ (467)



オーナー夫婦の元気さん(左)とよしえさん

マボロン
JR横浜線 相模原駅 徒歩18分

新・赤さようさん
私
の
行
き
つ
け



店かと思えます。こちらのお店は、昼のランチの営業で、開店と同時に、売り切れてしまうこともあるようです。

普通・辛口・大辛から選べます。トッピングには、温泉たまご・パクチー・ピクルス等。運ばれてくるお皿には、ターメリックライスにカレーのルーが良く合い、煮込まれた大きめの肉がゴロゴロと、目を引きまします。

味わい深いスパイシーな味で、カレー好きにはたまらない、癖になるカレーかと思えます。

《ランチメニュー》(税込)
チキンカレー 1100円
ポークカレー 1200円
◎トッピング
温泉たまご 100円
うずら 100円
パクチー 100円
ピクルス 60円

【営業時間】11時~14時
【定休日】月・火曜日
神奈川県相模原市中央区中央 3-7-1
☎042-751-3320

**味わい深いカレー
開店と同時に売れ切れも**

詰将棋

6	5	4	3	2	1
		▲	▲	▲	
		▲	▲	▲	
		▲	▲	▲	
		▲	▲	▲	
		▲	▲	▲	

持駒
▲ 金 桂
△ 角 飛 王 将

造園業になったきっかけは高校生の時。山岳部に所属して、道具を扱うお金を稼ぐためのアルバイト先がたまたま造園会社だった。公共工事がメインのその会社では色々な経験ができた。職人さんたちも気さくに雑談してくれ、



造園 藤倉智則

忘れえぬ20代最後、怒涛の50日

大抜擢で総監督に

居心地もよくなり、高校を卒業して1年もすると現場監督をするまでになった。

その後、バブル崩壊や独立などをへて民間工事をやる中で、結婚式場を作ることに。当時の日本では珍しい、カーデンがメインの大型結婚式場で、セネコンが元請で造園会社が工事の中心の現場だった。気楽に手伝うつもりが、工事の遅れによるしわ寄せで、工期が刻々と迫ってくる。この会場はオープンセレモニーやテレビの取材が大々的に入っていたため、工期の延長もできずあと50日しかない。そんな切羽詰まった中、なぜか総監督を自分がやる羽目になった。樹木大小800本、花卉かき2万5000鉢、客土5500立米という大突貫工事を助監督2人、職長15人、作業員150人体制で始めたが、後にも先にもこの人数での植栽工事はない。何とか完了したのがセレモニーの4時間前という、大変な20代最後の春だった。

この工事を境に仕事環境が激変。式場を作りたい人や設計事務所、ホテルや他の商業施設からのオファーがコンスタントに入ってくるようになった。現在はまた新たに質の高い公共の樹木管理に挑戦しているが、こんな感じで仕事を今もできているのもあの時の怒涛の50日間があったからだと思う。(三鷹武蔵野)

七打七中
型破り
8月23日、全国高校野球選手権大会の決勝は8-2
で仙台育英を下して慶応が勝利。第2回大会以来、実に107年ぶりの優勝というところで話題になった。監督を務めた森林貴彦のモットーはエンジョイベイスポール。厳しく縛らず、選手の意見をしっかりと取り入れ、「文武両道」「髪型自由」「長時間練習なし」で選手主導型チームを作り上げた。今回の優勝は、これまでの高校野球の在り方に一石を投じたのではないか。

チョット一服(1087)

ハリウッドが大変だ。全米映画俳優組合の組合員が長引くストライキで窮地に陥り、家を売らざるを得ない俳優も出てきているという。この事態に組合が寄付を募ったところ21億5千万円を超える資金が集まった。その大部分はドウェイン・ジョンソンやジョ

ーシ・クルーニーなどトップクラスの俳優数千人の寄付だという。



ターミナル スティーブン・スピルバーグ 監督

空港で暮らすことになった男の物語

当初は空港内に放置された旅客用カートに返却デポジット金で稼ぐことから始め、やがて無断で行なった大工事の腕を買われターミナルの内装業者に雇われ、空港の従業員たちとも親しくなり、空港にあったパンフレットや旅行案内本を読み独学で英語も身につけていくピクチャーには驚かされる。戦争を長引かせている世の為政者たちにこの人間力があれば良いのに、と思わずにいられない。



ロシアがウクライナ侵攻を開始してから一年半が過ぎた。米紙NYタイムズの報道によると、両軍のこれまでの死者は50万人近くに上っているという。また、UNHCRの発表では、世界各地に滞在しているウクライナ難民は626万8000人もいるらしい。

2004年公開の『ターミナル』は、母国で突然起きたクーデターでパスポートが無効になりアメリカ入国を禁じられ、JFK空港に閉じ込められてしまった男の物語。イラン出身のナセリ氏が仏のシャルル・ドゴール空港内で18年間足止めを食らった実話を、スピルバーグ監督が題材にして製作した映画だ。トム・ハンクス演じるピクチャー・ナボルスキーは、内装業者に雇われ、空港の従業員たちとも親しくなり、空港にあったパンフレットや旅行案内本を読み独学で英語も身につけていくピクチャーには驚かされる。戦争を長引かせている世の為政者たちにこの人間力があれば良いのに、と思わずにいられない。